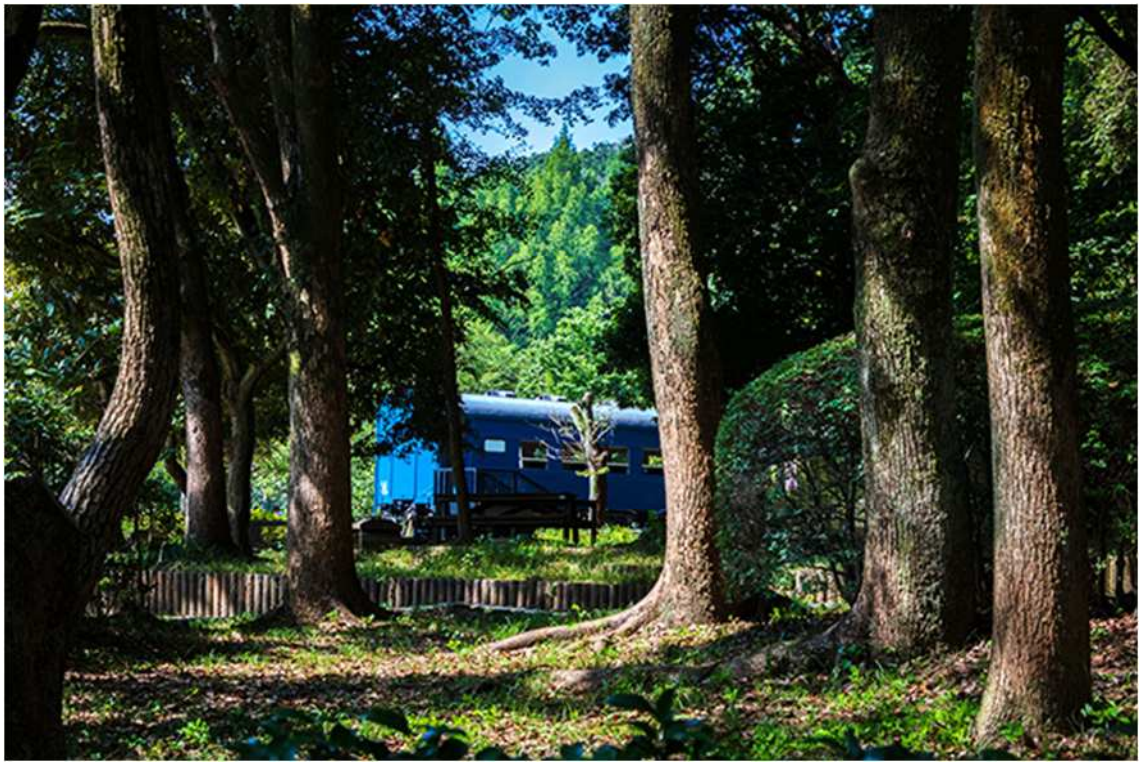
生　田　緑　地　概　要



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

令和７年４月

川崎市建設緑政局

目　次

あらまし……1
生田緑地のパークマネジメント……2
都市計画の沿革……3
生田緑地の変遷……4
区域の概要……9
用地取得状況……11
土地所有区分……11
整備事業費……11
主な施設……12
主な花木・草花……14
利用案内……15
設備案内図……18

未来を育てるミュージアム
生田緑地
ikuta ryokuchi park

生田緑地ブランドロゴ・メッセージ※について

葉をモチーフに自然を表しつつも、人の意思や科学を含む洗練された先進文化といった要素を取り入れて表現しました。「自然豊かな公園」だけではないことを強く伝え、３枚の重なり合う葉は、自然・文化・人、「３」から「衆」を成す、多様性の最小単位などを表します。また、マークに合わせたフレーズとして、岡本太郎美術館、日本民家園、かわさき宙と緑の科学館、藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムといった個性的な各施設を豊かな自然の中に擁する生田緑地を、未来に向けた、大きな「ひとつのミュージアム」として定義するものとしました。※平成２９年１月に策定されました。

あ　ら　ま　し

生田緑地は、川崎市の北西部多摩丘陵の一角に位置し、豊かな自然環境を背景として、教養施設も備わった四季を通じて散策できる市内有数の緑地として、多くの市民に親しまれています。

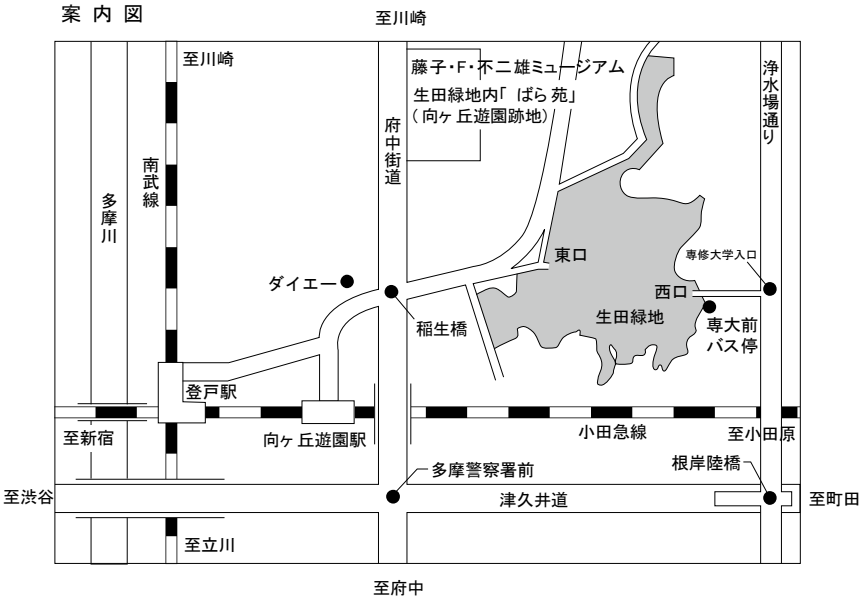
その歴史は昭和16年に面積165.5haの緑地として都市計画決定されたことに始まり（平成17年12月179.3haに変更）、昭和39年度から公園の整備を進め、現在、約117.4haを供用しています。

中央地区には、東口ビジターセンターや駐車場、しょうぶ園、中央広場、展望台のある枡形山広場、日本民家園、伝統工芸館、かわさき宙と緑の科学館（青少年科学館）、岡本太郎美術館などの各施設が備わり、南地区には、周遊散策路（初山地区）や川崎国際生田緑地ゴルフ場が位置しています。東地区は、平成14年に閉園した向ケ丘遊園の跡地とその周辺地域を含めた区域であり、川崎市が引き継いだ向ヶ丘遊園跡地内の「ばら苑」は、バラの見頃の春と秋に一般公開しています。更に、平成23年9月には、同じく向ヶ丘遊園跡地内に藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムも開館しました。

平成15年度から同17年度にかけては、向ヶ丘遊園の閉園などを背景に、新たな整備方針として、市民参加のワークショップによって「生田緑地整備構想」及び「生田緑地整備基本計画」並びに「生田緑地管理計画書」を策定しました。次いで、平成18年8月には、その実践の場として、活動団体・個人及び行政からなる「生田緑地管理運営協議会」が設立され、市民と行政の協働の取り組みを推進しました。

また、平成23年3月には、これらの経緯を踏まえ、誰もが共有できる生田緑地の目指すべき将来像を示す構想として「生田緑地ビジョン」を策定しました。平成25年3月には、「協働のプラットフォーム」として生田緑地にかかわる多様な主体が管理運営に参加する「生田緑地マネジメント会議」を設立しました。この会議では、市民団体や町内会・商店街等の地域団体、大学、行政などの多様な構成員が、同じ円卓を囲んで話し合い、生田緑地が誰もが楽しめる場となるよう、その価値と魅力の向上に取り組んでいます。

案内図



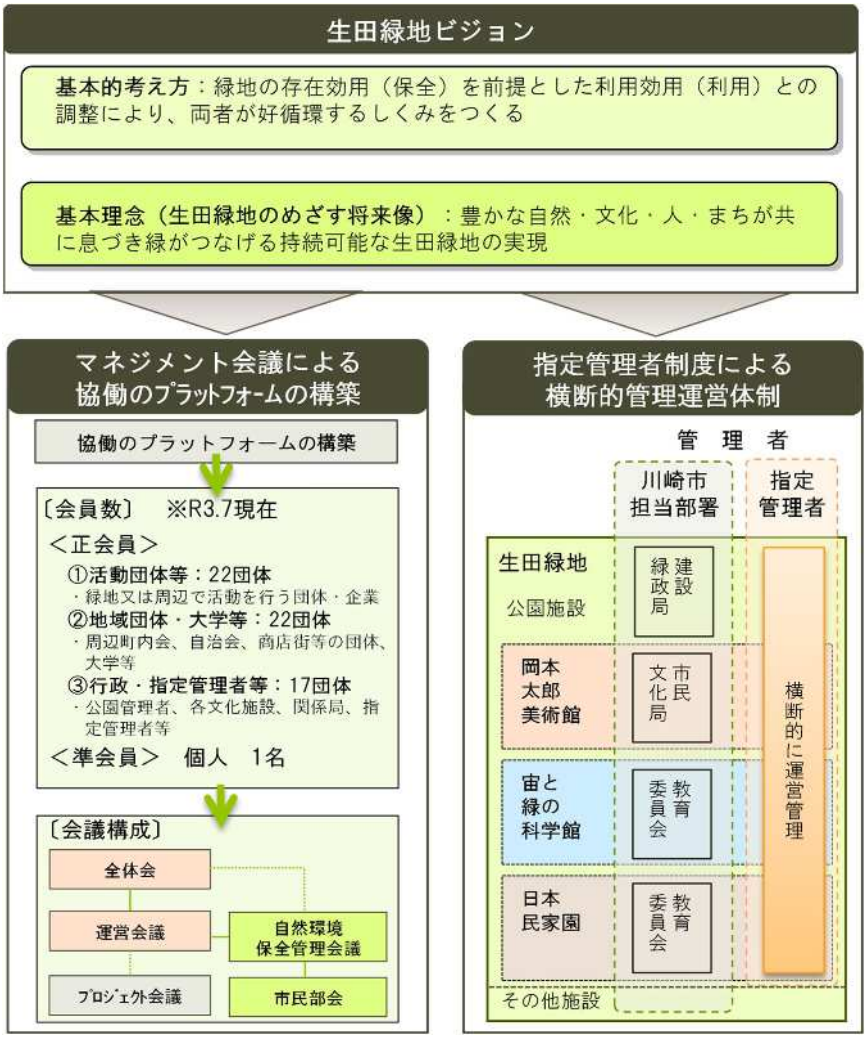
生田緑地のパークマネジメント

生田緑地では、「生田緑地ビジョン」に基づき、平成25年度より、緑地と緑地内に立地する岡本太郎美術館、日本民家園及び青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）を横断的に管理する指定管理者制度を導入するとともに、多様な主体による公園運営に向けた協働のプラットフォームの構築により、総合的なマネジメント体制による管理運営を行っています。

指定管理者制度を活用した管理運営については、民間の発想による新たな取組と専門的なノウハウを活用し、施設間の連携強化と管理運営の効率化を図り、生田緑地全体の魅力向上に向けた取組を進めています。

具体的には、周辺地域等と連携したイベントや、ホームページやＳＮＳを活用した緑地全体のＰＲ、複数施設利用割引の実施など、緑地の利便性やサービス向上に関する取組を実施しています。

指定管理者による横断的管理と、前述の「生田緑地マネジメント会議」による運営の連携により、自然の保全と利用の調整、課題解決を図りながら、「生田緑地ビジョン」の実現に向けた取組を進めています。



生田緑地のパークマネジメントの概要

マネジメント会議全体会の様子

自然環境保全管理会議
市民部会の作業

指定管理者の取組
「サマーミュージアム」

都　市　計　画　の　沿　革

1．都市計画決定

年　　月　　日	告示番号	面　　積	内　　容
昭和16.　3.　22	内告第 87号	165.49ha	決　　定
29.　5.　21	建告第949号	176.36	区域変更
34.　3.　23	建告第442号	174.71	〃
53.　11.　7	神告第847号	175.90	〃
平成 5.　1.　8	神告第　5号	177.40	〃
12.　12.　21	川告第645号	178.80	〃
17.　12.　14	川告第535号	179.30	〃
令和 4.　4.　7	川告第222号	179.70	〃

2．事 業 認 可

年　　月　　日	告示番号	面　積	年　度	内　容
昭和 16.　3.　22	内告第 87号	116.69	昭和15～17	決　　定
18.　5.　13	〃 第315号	116.69	15～19	年度延長
29.　5.　21	建告第949号	24.76	29～33	追　　加
34.　3.　23	〃 第442号	29.70	29～38	年度延長・区域変更
39.　3.　25	〃 第866号	29.70	29～43	年度延長
39.　12.　23	〃 第3947号	12.50	39～43	追　　加
44.　3.　31	〃 第972号	29.70	29～48	年度延長
48.　8.　3	神告第649号	42.20	29～52	年度延長・区域変更
53.　2.　28	〃 第133号	42.20	29～57	年度延長
55.　10.　14	〃 第813号	42.20	29～57	区域変更
58.　3.　1	〃 第153号	42.20	29～62	年度延長
60.　3.　8	〃 第194号	50.50	29～62	区域変更
63.　3.　8	〃 第218号	50.70	29～67	年度延長・区域変更
平成 5.　3.　26	〃 第318号	52.20	29～平9	年度延長・区域変更
10.　3.　10	〃 第166号	52.20	29～平12	年度延長・区域変更
13.　3.　23	〃 第237号	53.60	29～平16	年度延長・区域変更
16.　12.　28	〃 第840号	61.60	29～平19	年度延長・区域変更
20.　3.　28	〃 第207号	68.30	29～平24	年度延長・区域変更
25.　3.　26	〃 第176号	68.30	29～平35	年度延長・区域変更
令和 5.　3.　31	〃 第154号	68.30	29～令和11	年度延長

※「内告」・・内務省告示、「建告」・・建設省告示、「神告」・・神奈川県告示、「川告」・・川崎市告示

生　田　緑　地　の　変　遷

昭和 2(1927)年 4月	小田原電鉄開通と同時に花の遊園地、向ヶ丘遊園（23.8ha）が開業（入園無料）
昭和16(1941)年 3月	向ヶ丘遊園含む面積165.49haを川崎市都市計画緑地1号として決定
昭和16(1941)年～昭和19(1944)年	防空を主たる目的に山林、農地を買収
昭和22(1947)年～昭和23(1948)年	自作農特別措置法施行に伴い農地（19.8ha）が国有地となる
昭和23(1948)年 2月	緑地計画遂行上の理由から国に対し農地(約14ha分)の売渡保留申請
昭和25(1950)年10月	同売渡保留決定
昭和26(1951)年 2月	川崎林園株式会社より、ゴルフ場建設敷地貸借許認可申請
同年 8月	国有農地借受許可（約14ha分） 第2回国有農地借受許可申請（約5.8ha分）
昭和27(1952)年 2月	第2回国有農地借受許可（約5.8ha分） 借受面積計19.8ha
昭和29(1954)年 3月	ゴルフ場施設建設工事着手
同年 5月	緑地区域の一部変更（面積176.36ha）
同年11月	ゴルフ場開場（18ホール）
昭和31(1956)年10月	都市公園法施行
昭和32(1957)年 4月	川崎市都市公園条例施行
昭和33(1958)年 5月	小田急向ヶ丘遊園内にばら苑が開苑
同年10月	22号台風（狩野川台風）による被害
昭和34(1959)年 3月	緑地区域の一部変更（面積174.71ha）
昭和36(1961)年 5月	生田緑地管理事務所設置
同年 4月	ゴルフ場運営に当たり川崎林園株式会社及び川崎国際C. Cに対し都市公園法に基づき管理許可（期間S36.4.10～39.4.9）
昭和39(1964)年 4月	同上（期間S39.4.25～42.4.24）

同年12月　本格的に造成工事に着手
昭和40(1965)年　しょうぶ園造成工事・植栽工事
昭和41(1966)年 1月　幹線園路及び西口駐車場造成
昭和42(1967)年　県の木見本園、奥の池水辺林等造成
同年 3月　ゴルフ場管理許可継続申請却下
同年 4月　日本民家園開園
同年 5月　ゴルフ場行政代執行実施
同年 7月　生田緑地管理事務所を生田公園事務所に名称変更
昭和43(1968)年　新都市計画法施行
昭和44(1969)年　噴水池、東口駐車場整備
昭和45(1970)年　桜の広場造成
同年 5月　生田公園事務所を北部公園事務所に名称変更
昭和46(1971)年 2月　幹線園路舗装整備
同年 3月　青少年科学館（プラネタリウム館）開館
同年11月11日　科学技術庁による関東ローム層崩壊実験
（実験中土砂崩壊事故発生 15名死亡、9名負傷）
昭和47(1972)年　ピクニック広場整備
昭和48(1973)年　東口駐車場舗装整備
昭和49(1974)年　噴水広場周辺整備
昭和51(1976)年　市民の花園・梅園ほか整備
昭和53(1978)年　北部公園事務所新築（延面積398.52㎡）
同年11月　緑地区域の一部変更（175.9ha）
昭和55(1980)年 3月　自然探勝路整備（ピクニック広場～水田跡地、延長320m）
昭和56(1981)年 3月　自然探勝路整備（水田跡地～芝生公園～枡形山広場、延長350m）
昭和57(1982)年 3月　自然観察路整備（飯室山～北口入口、延長250m）
かおりの園整備
昭和58(1983)年 3月　自然探勝路整備（飯室山～北口入口、延長200m）
伝統工芸館建設
昭和59(1984)年 3月　自然探勝路整備（伝統工芸館～奥の池、延長180m）
同年 7月　ゴルフ場裁判和解

昭和60(1985)年 3月	自然探勝路整備（奥の池～梅園～つつじ園、延長260m）
同年10月	客車設置（形式：スハ42-2047　昭和23年製造）
昭和61(1986)年 3月	自然探勝路整備（公園事務所脇～芝生公園、延長280m）
昭和62(1987)年 2月	グリーンアドベンチャーコース設置
同年 3月	自然探勝路整備（しょうぶ池～初山地区、延長410m）
昭和63(1988)年 3月	自然探勝路整備（おもい出のうたのこみち、延長250m）
	野鳥の森第1期整備（東口駐車場奥、面積約10,000㎡）
平成元(1989)年 3月	野鳥の森第2期整備（面積約20,000㎡）
平成 2(1990)年 3月	水生植物観賞池整備（ふるさとのこみち、面積約1,900㎡）
平成 3(1991)年 3月	ふるさとのこみち第2期整備（面積約1,270㎡）
	谷間の流れ整備（面積約2,715㎡）
同年12月	ゴルフ場を市へ移管、川崎国際生田緑地ゴルフ場に名称変更
平成 4(1992)年 3月	ふるさとのこみち第3期整備（面積約2,000㎡）
	谷間の流れ第2期整備（面積約5,000㎡）
	枡形山広場第1期整備
	生田緑地東生田2丁目園路整備
平成 5(1993)年 1月	緑地区域の一部変更（177.4ha）
同年 3月	枡形山広場第2期整備
	七草峠整備
平成 6(1994)年 3月	生田緑地東生田2丁目園路第2期整備
平成 7(1995)年 3月	枡形山広場展望台新築
	枡形山広場周辺整備
	生田緑地東生田2丁目園路整備
平成 8(1996)年 3月	戸隠不動尊跡地整備
	生田緑地東生田2丁目園路整備
平成 9(1997)年 3月	生田緑地枡形ピクニック広場整備
	生田緑地東生田2丁目園路整備
平成10(1998)年 3月	生田緑地谷間の散策路整備
	生田緑地東生田2丁目園路整備

	生田緑地東生田2丁目崖崩れ防止擁壁整備
平成11(1999)年 1月	生田緑地谷間の散歩道整備
同年10月	東口駐車場整備
	西口園路舗装改良
	岡本太郎美術館開館
同年12月	生田緑地内園路整備
平成12(2000)年 3月	生田緑地ホタルの里入口探勝路整備
同年12月	緑地区域の一部変更（178.76ha）
平成13(2001)年 3月	生田緑地ホタルの里第1期整備（面積約4,000㎡）
平成14(2002)年 3月	生田緑地ホタルの里第2期整備（面積約2,000㎡）
	枡形・おし沼整備
	小田急向ヶ丘遊園が閉園
同年 5月	旧向ヶ丘遊園ばら苑を市へ移管し、生田緑地ばら苑へ名称変更
	春秋2回開苑
平成15(2003)年 3月	生田緑地ホタルの里第3期整備（面積約2,000㎡）
平成16(2004)年 3月	生田緑地ホタルの里第4期整備（木道約145m、戸隠不動尊跡地へのルート完成）
平成17(2005)年 3月	初山広場整備（面積約3,500㎡）
同年12月	緑地区域の一部変更（179.27ha）
平成18(2006)年 3月	ばら苑連絡散策路整備（東生田2丁目～ばら苑西口、約220m）
平成19(2007)年 3月	ばら苑西口広場整備（面積約3,000㎡）
平成20(2008)年 3月	初山地区園路広場整備（面積約700㎡）
平成21(2009)年 3月	初山地区園路広場整備（面積約700㎡）
	東口広場整備（面積約700㎡）
平成22(2010)年 3月	水生植物観賞池整備（面積約5,000㎡）
	ゴルフ場前駐車場整備（面積約1,300㎡）
同年 4月	生田緑地の管理が環境局から多摩区役所に移管され、北部公園事務所から生田緑地管理事務所に名称変更
同年 8月	中央広場第1期整備

平成23(2011)年 3月　中央広場第2期整備（面積約17,800㎡）

周遊散策路（初山地区）第1期整備（約400m）

生田緑地ビジョン策定

同年 9月　川崎市藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム開館

同年10月　周遊散策路（初山地区）第2期整備（約200m）

平成24(2012)年 3月　中央広場第3期整備（面積約4,000㎡）

サイン施設第1期整備

東口ビジターセンター、西口サテライト建設

同年 4月　かわさき宙と緑の科学館（青少年科学館）リニューアルオープン

平成25(2013)年 3月　崖崩れ防止対策（枡形山展望台～七草峠、約150m）

周遊散策路（初山地区）第3期整備（約300m）

サイン施設第2期整備

生田緑地マネジメント会議設立

同年 4月　指定管理者制度導入（生田緑地運営共同事業体：代表企業：三井物産ファシリティーズ(株)、構成員：日本ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｻｰﾋﾞｽ(株)、(株) 富士植木、三井共同建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ（株）　期間：平成25（2013）年度～平成29（2017）年度）

生田緑地整備事務所設置　（生田緑地管理事務所から名称変更、建設緑政局緑政部・多摩区役所道路公園センター兼務）

同年 5月　生田緑地の自然の保全・利用方針策定

同年10月　ゴルフ場新クラブハウス建設

平成26(2014)年 3月　西口園路整備（岡本太郎美術館～ゴルフ場クラブハウス、約330m）

同年 4月　初山地区広場第1期整備（面積約3,800㎡）

平成27(2015)年 3月　初山地区広場第2期整備（面積約7,500㎡）

サイン施設第3期整備

東生田2丁目西ルート休息施設整備工

平成28(2016)年 8月　西口広場第1期整備（面積約2,500㎡）

同年11月　　初山地区広場第3期整備（面積約2,800㎡）

同年11月　　「生田緑地における協働の　パークマネジメント」の取組が、緑の都市賞【緑の市民協働部門】国土交通大臣賞を受賞

平成29(2017)年 1月　　生田緑地のブランドロゴ・メッセージの策定

同年 3月　　西口広場第2期整備（面積約2,500㎡）名称：西口展望広場

平成30(2018)年 4月　　第２期指定管理者期間

生田緑地共同事業体：代表企業：(株) 日比谷花壇、構成員：(株) 日比谷アニメス、東急プロパティマネジメント（株）

期間：平成30（2018）年度～令和4（2022）年度

平成31(2019)年 4月　　桝形山展望台舞台リニューアルオープン

令和２(2020)年 5月　　「新型コロナウィルス感染症緊急事態宣言」４月～５月の期間、３館、東口ビジターセンター及び東口駐車場等が臨時休館・休場となる。

令和４(2022)年 3月　　都市計画決定から令和３(2021)年３月で８０年になるのを記念し、生田緑地マネジメント会議主催で「未来に残したい生田緑地写真展」を開催した。また、写真展の入賞作品及び各施設が協力し、８０周年を記念した生田緑地トランプを作成した。

同年 4月　　緑地区域の一部変更（179.7ha）

令和６(2024)年 5月　　「生田緑地ビジョン」改定。

80周年記念で作成した「生田緑地トランプ」

区　域　の　概　要

生田緑地は、概ね次の区域に分けられます。

A）中央地区

所在：川崎市多摩区枡形6･7丁目、東生田2･4丁目

（中央広場及び自然探勝路とその周辺地域）

面積：約45.22ha（うち事業認可区域44.44ha）

概要：昭和29年頃から都市計画事業を進めてきた区域で、東口ビジターセンターや駐車場、しょうぶ園、中央広場、枡形山広場、枡形山展望台、日本民家園、伝統工芸館、かわさき宙と緑の科学館（青少年科学館）、岡本太郎美術館等の各施設をはじめ、樹林や起伏に富んだ地形などの豊かな自然と、それらを生かした自然探勝路等が整備され、多くの市民に親しまれています。また、同地区、中ほどの枡形山は、鎌倉幕府の初代将軍・源頼朝の侍大将であった稲毛三郎重成の拠った城址（枡形城址）と伝えられています。更に、近年では貴重になったホタルの生息する環境も有する区域でもあります。

B）南 地 区

所在：川崎市多摩区枡形7丁目、東三田2･3丁目、宮前区初山1丁目、菅生1丁目

（川崎国際生田緑地ゴルフ場とその周辺区域）

面積：81.62ha（うち事業認可区域13.20ha）

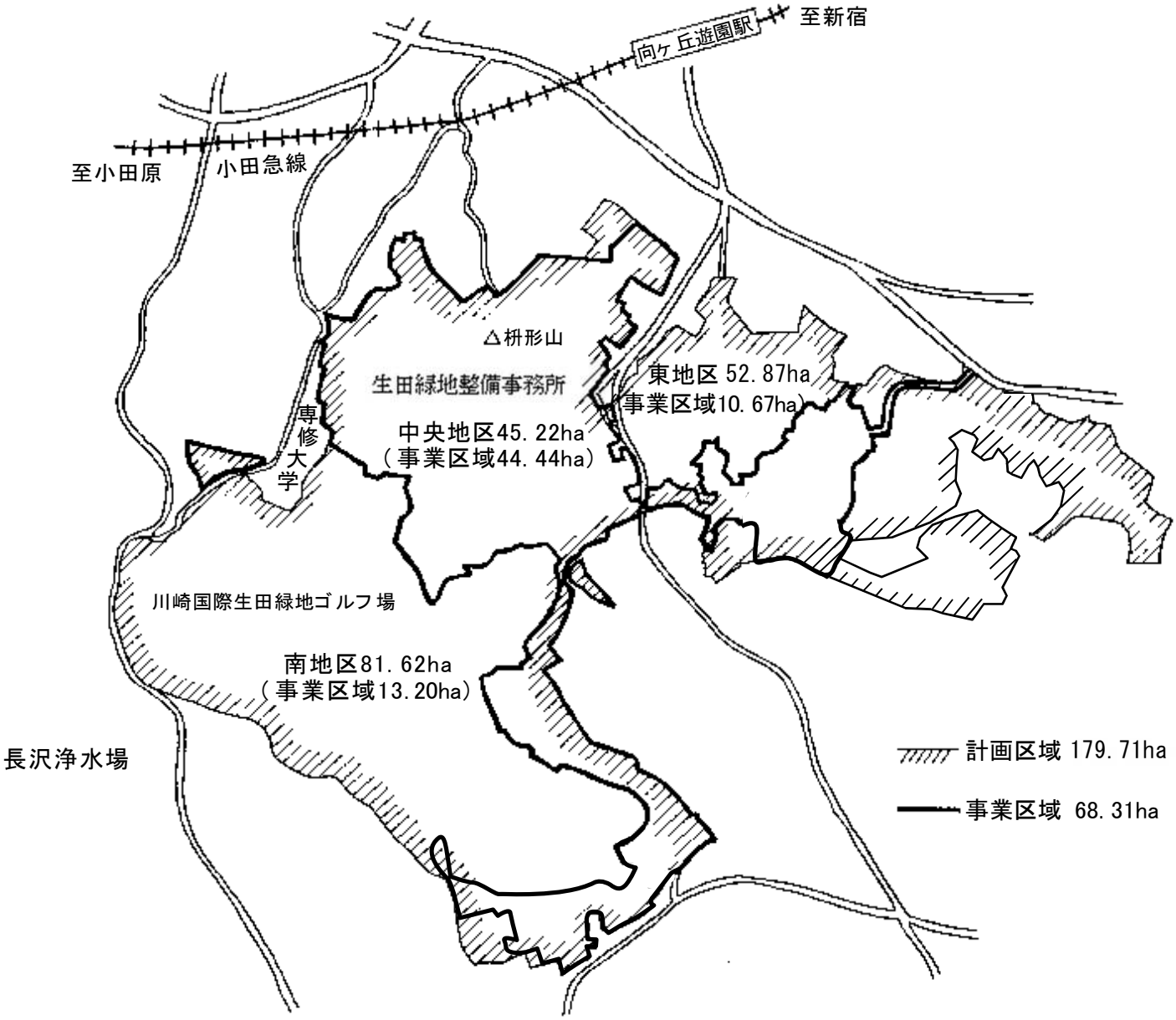
概要：川崎国際生田緑地ゴルフ場が大半を占める区域で、初山地区では地域の環境（初山らしい里山の景観等）を生かした整備をしています。

C）東 地 区

所在：多摩区東生田1・2・3丁目、宿河原2丁目、長尾2・3丁目

面積：52.87ha（うち事業認可区域10.67ha）

概要：旧向ケ丘遊園跡地とその周辺地域を含めた区域で、向ヶ丘遊園跡地内の「ばら苑」は市が管理を引き継ぎ、毎年、春と秋の開苑期間は多くの市民で賑わいます。平成23年9月には藤子･F･不二雄ミュージアムが開館し、新たな魅力が加わりました。また、緑地の宅地化防止と存在効用維持のため、都市計画法第55条による指定や事業区域への一部編入などの施策を展開しています。



用　地　取　得　状　況　（令和7年3月31日現在）

区分	区域面積	用地取得	
		面積	取得割合
事業認可区域	68.31ha	65.15ha	95.37%
事業認可区域外	111.40ha	65.65ha	58.93%
計	179.71ha	130.80ha	72.85%

土　地　所　有　区　分

区　　分	区域面積	区 域 名	市 有 地	民　地	取得割合
中央地区	45.22ha	枡形６・７丁目 東生田２・４丁目	43.04ha	2.18ha	95.18%
南 地 区	81.62ha	枡形７丁目 東三田２・３丁目 初山１丁目 菅生１丁目	68.31ha （ゴルフ場 58.69ha）	13.21ha	83.69%
東 地 区	52.99ha	東生田1･2･3丁目 宿河原２丁目 長尾２・３丁目	19.24ha	33.75ha	36.31%
計	179.71ha		130.80ha	48.91ha	72.62%

整　備　事　業　費

事　業　名	施　設　費	用　地　費	合　　計
過年度事業費 （内国庫補助金） （内県費補助金）	3,776,944 千円 1,119,191 千円 71,258 千円	32,482,701 千円 4,924,676 千円	36,259,645 千円 6,403,867 千円 71,258 千円

主　な　施　設

（令和２年３月 31 日現在）

施設名	内容	面積約（m²）
中央広場	休憩所、芝生広場、客車、トイレ等	17,760
かおりの園	キンモクセイ等芳香性樹木26種等	1,550
県の木見本園	各都道府県の木	4,830
市民の花園	ツバキ･サクラ･ツツジ等樹木、パーゴラ、トイレ等	17,280
梅園	道知辺･紅冬至等ウメ51種85本	2,500
奥の池・水辺林	奥の池(840㎡)、流れ、メタセコイア林、石張舗装、慰霊碑(昭和46年11月関東ローム層崩壊実験事故)等	5,000
谷間の流れ・しょうぶ園	しょうぶ池(785㎡･ハナショウブ約2,800株)、流れ、滝、木橋、四阿、石張舗装、トイレ等	5,740
自然探勝路	木道等延長約2.5km、広場、四阿等	31,500
ホタルの里	木道等延長約240m、流れ、ハンノキ林等	17,200
周遊散策路(初山)	木道等延長約900m	1,200
野鳥の森	観察小屋、食餌木、野鳥の池等	30,000
枡形山広場	展望台、複合遊具、枡形城址碑、輝け杉の子碑、トイレ等	7,420
グリーンアドベンチャー	延長約1.5km、樹木名当てクイズサイン(40問)等	
水生植物観賞池	コウホネ等水生植物12種、木道等延長240m等	12,038
おもい出のうたのこみち	石張舗装、歌碑、四阿、芝生広場、パーゴラ等	
駐車場	東口163台(うち身障者用4台)、西口52台(うち身障者用2台)･トイレ、生田緑地大型バス駐車場4台、ゴルフ場前218台(うち身障者用2台)	14,835
幹線園路	東口･西口間延長約930m、幅員4～6m	7,870
西口広場	岡本太郎美術館～ゴルフ場クラブハウス間延長約330m、芝生広場等	20,000
生田緑地整備事務所	鉄筋CO造2階建･延398.5㎡、市民活動室等	1,390
川崎市立日本民家園	神奈川の村等5コーナー古民家ほか25棟、そば処等	32,387
伝統工芸館	鉄筋CO及び木造2階建･延202.88㎡、藍染め体験施設	1,159
かわさき宙と緑の科学館(青少年科学館)	鉄筋CO造3階建･延3,116.65㎡、プラネタリウム、展示室、学習室、実験室、ミュージアムショップ、カフェ、D51型蒸気機関車(屋外)等	3,854
川崎市岡本太郎美術館	鉄筋CO造地上1階地下1階建･延4,994㎡、常設展示室、企画展示室、ミュージアムショップ、カフェ、母の塔(屋外･全高30m)等	9,468

川崎市藤子･F･不二雄ミュージアム	鉄筋CO造地上3階建･延3,600㎡、展示室、映像展示室、漫画ライブラリ、屋外広場、ミュージアムショップ、カフェ増築棟等	7,328
ばら苑	バラ800種3,300株(春)625種2,900株(秋)、トイレ等	12,000
自然林等	クヌギ･コナラ等自然林(一部民有林･農耕地含む)	440,554
川崎国際生田緑地ゴルフ場	18ホール･6,500ヤード、クラブハウス等	586,887
西口展望広場	展望デッキ、枯山水、芝生広場等(旧クラブハウス跡地)	2,500
東口ビジターセンター	1階鉄筋CO2階木造･延399.28㎡、総合案内窓口等	駐車場に含む
西口サテライト	木造1階建･延29.81㎡、案内窓口等	
初山	芝生広場、園路、せせらぎ、里山農体験畑等	14,100

主　な　花　木　・　草　花

花　木　名	数　　量	花　期	摘　　要
ウ　　メ	95 本	2 月上旬～ 3 月上旬	梅園、ホタルの里
サ　ク　ラ	1,500 本	4 月	枡形山広場、幹線園路他 （内　ヤマザクラ　約 1,000 本）
コ ウ ホ ネ 他	12 種	3 月～8 月	水生植物観賞池
フ　　ジ	3 棚	5 月	園内
ツ　ツ　ジ	12,000 株	5 月～7 月	園内
ハナショウブ	2,800 株	5 月下旬～ 6 月中旬	しょうぶ園
ア ジ サ イ	8,900 株	6 月	あじさい山他
バ　　ラ	4,700 株	5 月、10 月	ばら苑春秋 2 回開苑
そ の 他 各 種	アベリア、サザンカ、サツキツツジ、ヤマツツジ、レンギョウ、ヤマハギ、マルバウツギ、コブシ、キブシ、タニウツギ、コバノガマズミ、ウグイスカグラ、ハナミズキ等	四　　季	園内各所

春の新緑や夏の緑、秋にはモミジやハゼノキ等の紅葉のうつろいが美しく、冬の雑木林の風情や雪景色は格別の観を呈します。

また、自生種の代表的なものとして、タマノカンアオイ、ヤマユリが有名です。

利　用　案　内

川崎市建設緑政局

◎生田緑地整備事務所
〒214-0032 川崎市多摩区枡形6丁目26番地1号 電話(044)934-8577
電話(044)933-2063（指定管理者）

○東口ビジターセンター
〒214-0032 川崎市多摩区枡形7-1-4 電話(044)933-2300

○西口サテライト
〒214-0032 川崎市多摩区枡形6-26-2 電話(044)933-2066

○西口園路(岡本太郎美術館～ゴルフ場クラブハウス)
・通行時間　午前8時～午後5時30分
★生田緑地公式ホームページ　https://www.ikutaryokuti.jp/

○川崎国際生田緑地ゴルフ場
〒214-0032 川崎市多摩区枡形7丁目1番10号 電話(044)934-1555
★公式ホームページ　http://www.tokyu-golf-resort.com/kawasaki/
※料金・休場日については、電話又はホームページにてご確認ください。

○ばら苑
〒214-0023 川崎市多摩区長尾2丁目8番地1号他 電話(044)978-5270 ※開苑期間のみ
★公式ホームページ　http://www.ikuta-rose.jp/
・開苑期間　春季　5月上旬から5月下旬
秋季　10月中旬から11月上旬
※くわしくは、みどりの管理課(電話(044)200-2394)又はホームページにてご確認ください。
・開苑時間　春季　午前10時～午後4時30分(平日)
午前 9時～午後4時30分(土、日祝日)
秋季　午前10時～午後4時　(平日)
午前 9時～午後4時　(土、日祝日)
※入苑は閉苑の30分前まで
・休苑日　毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

○駐車場
・駐車台数
東口165台(うち身障者用4台)、西口52台(うち身障者用2台)・トイレ、生田緑地大型バス駐車場4台、ゴルフ場前203台(うち身障者用5台)
・駐車料金

		乗用車	大型車(東口のみ・要予約)
１時間以内		200円	500円
超過30分毎	2時間以内	100円	250円
	2時間以上	50円	250円

・入庫可能時間　午前5時～午後10時(出庫は24時間)

川崎市教育委員会

◎川崎市立日本民家園

〒214-0032 川崎市多摩区枡形 7 丁目 1 番 1 号 電話(044)922-2181

★公式ホームページ　https://www.nihonminkaen.jp/

・入園料　一般 500 円、高･大学生･65 歳以上 300 円、
団体(20 人以上)20%引き、中学生以下無料

★年間パスポート　一般 1,000 円、高校生･大学生･65 歳以上 600 円

・開園時間　3～10 月　午前 9 時 30 分～午後 5 時
11～ 2 月　午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
※入園は閉園 30 分前まで

・休園日　毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
祝日の翌日(土曜日･日曜日の場合はその翌日)
年末年始

○伝統工芸館(日本民家園西門)

〒214-0032 川崎市多摩区枡形 7 丁目 1 番 3 号(日本民家園内) 電話(044)900-1101

★伝統工芸館のみの入館は無料

○そば処「白川郷」

日本民家園内山下家住宅 1 階 電話(044)932-7747

◎かわさき宙(そら)と緑の科学館(川崎市青少年科学館)

〒214-0032 川崎市多摩区枡形 7 丁目 1 番 2 号 電話(044)922-4731

★公式ホームページ　https://www.nature-kawasaki.jp/

・展示室　無料

・プラネタリウム観覧料　一般 400 円、高校生･大学生･65 歳以上 200 円
団体(20 名以上)20%引き、中学生以下無料

・開館時間　午前 9 時 30 分～午後 5 時

・休館日　毎週月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(土日・祝日の場合は開館)
年末年始

○Ｃａｆｅ星めぐり

かわさき宙と緑の科学館内 電話(044)911-1107

川崎市市民文化局

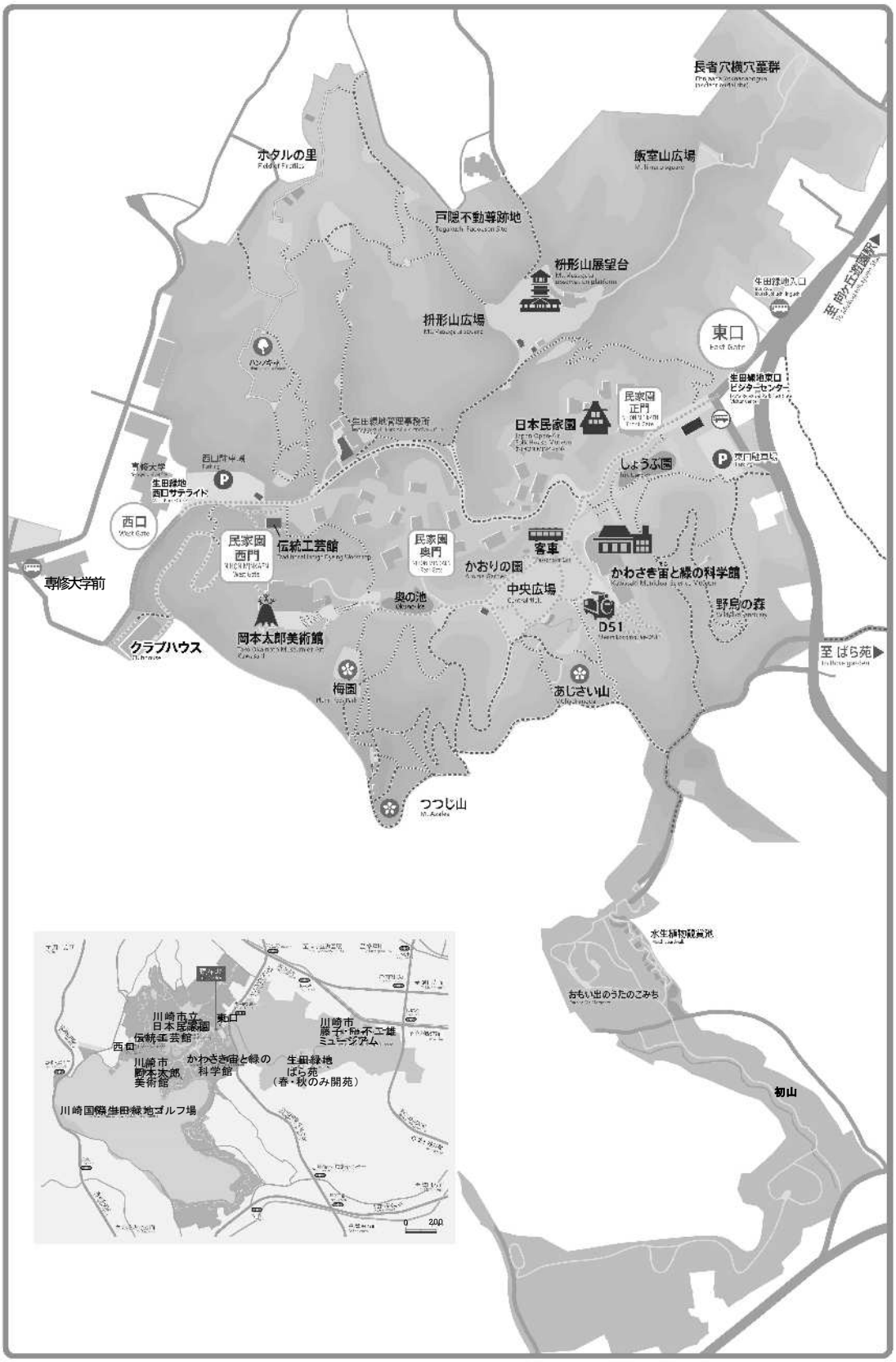
◎川崎市岡本太郎美術館
〒214-0032 川崎市多摩区枡形７丁目１番５号　電話(044)900-9898
★公式ホームページ　http s ://www.taromuseum.jp/
・観覧料　企画展によって異なる
常設展のみの場合　一般 500 円、高大学生及び 65 歳以上 300 円
団体(20 人以上)20％引き、中学生以下無料
★年間定期券　一般 1,500 円、高校生･大学生･65 歳以上 1,100 円
・開館時間　午前９時 30 分～午後５時(入館は午後４時 30 分まで)
・休館日　毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
祝日の翌日(土曜・日曜の場合はその翌日)
年末年始
○カフェテリアＴＡＲＯ
岡本太郎美術館内　電話(044)900-6155

◎川崎市藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム
〒214-0023 川崎市多摩区長尾２丁目８番１号　電話 0570-055-245
★公式ホームページ　http://fujiko-museum.com/
・入館料　一般及び大学生 1,000 円、中学生･高校生 700 円
子ども(4 歳以上)500 円、3 歳以下無料
★完全日時指定予約制　1)午前 10 時(入館締切･午前 11 時)
2)午前 11 時(入館締切･午後０時)
3)午後０時(入館締切･午後１時)
4)午後１時(入館締切･午後２時)
5)午後２時(入館締切･午後３時)
6)午後３時(入館締切･午後４時)
7)午後４時(入館締切･午後５時)
・開館時間　午前 10 時～午後６時
・休館日　毎週火曜日（祝日の場合は開館）
年末年始
その他臨時休館あり
○ミュージアムカフェ
ミュージアム３階

その他

・３館（日本民家園・かわさき宙と緑の科学館・岡本太郎美術館）の半券提示で、相互割引（２割引）があります。(当日限り、他との併用不可)
・上記以外にも、施設ごとに割引があります。また、展示替えや保守等のため臨時休館日があります。くわしくは電話又は各ホームページにてご確認ください。

施　設　案　内　図


長者穴横穴墓群
ホタルの里
飯室山広場
戸隠不動尊跡地
枡形山展望台
枡形山広場
東口
生田緑地東口
ビジターセンター
民家園
正門
日本民家園
しょうぶ園
生田緑地
西口サテライト
西口
民家園
西門
伝統工芸館
民家園
奥門
客車
かおりの園
かわさき宙と緑の科学館
専修大学前
奥の池
中央広場
野鳥の森
D51
岡本太郎美術館
クラブハウス
至 ばら苑
梅園
あじさい山
つつじ山
水生植物観賞池
おもい出のうたのこみち
初山
川崎市立
日本民家園
東口
伝統工芸館
西口
川崎市
藤子・F・不二雄
ミュージアム
川崎市
岡本太郎
美術館
かわさき宙と緑の
科学館
生田緑地
ばら苑
（春・秋のみ開苑）
川崎国際生田緑地ゴルフ場
0
200

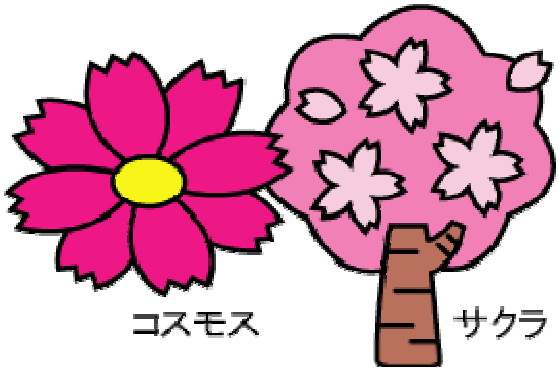
多摩区の花

モ　モ

スミレ

多摩区の木

ナ　シ

ハナミズキ

宮前区の花・木